

第104期

業務のご報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日



長野信用金庫

経営理念

健全経営に徹し、
豊かな地域社会づくりに貢献する

経営方針

お客様を大切にし、地域の発展に奉仕する
健全で調和のとれた経営を実践する
使命感をもち、活力ある職場をつくる

当金庫のビジョン

“地域愛”を原動力に
この先の成長も
みなさまとともに



当金庫の概要

創 立◆大正12年9月1日
本 店◆長野市居町133番地1
店舗数◆38店
常勤役職員数◆540名
会員数◆55,178名
出資金◆22億66百万円
預 金◆8,968億84百万円
貸出金◆3,689億70百万円
(令和8年3月31日現在)

目 次

当金庫の概要	1
ごあいさつ	2
第104期貸借対照表 ..	4
第104期損益計算書 ..	6
第104期剰余金処分 ..	7
経営指標	8
預金業務関係	9
貸出金業務関係	10
その他	11
一年のあゆみ	12
総代氏名	13



会員の皆さまにおかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当金庫の事業活動につきまして格別なるお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

ここに第104期の事業の概況をご報告申し上げます。

《金融経済環境》

令和7年度の日本経済は、米国トランプ政権の関税政策の影響を受けたものの緩やかな回復が続きました。また、大企業を中心とした過去最高水準の企業業績などを反映して日経平均株価は5万円台を記録するなど高値圏で推移しました。一方で、物価高による実質賃金の伸び悩みなどにより、景気回復の実感が乏しい状況にありました。

さらに、中東情勢の緊迫化等の地政学リスクや、それに伴う原油価格の高騰などの影響により、経済環境の先行きは依然として不透明な状況が続くものと予想されます。

また、地域経済に目を向けますと、一部の業種で持ち直しの動きが見られるものの、少子高齢化に伴う人口減少という構造的な課題もあり、地域社会を支える担い手の不足、地域産業の規模縮小が喫緊の課題となっています。

今後も、先行きの見通しづらい状況が続くと考えられますが、信用金庫のお取引先である中小企業がコスト上昇分を適正に価格転嫁し、物価上昇が賃上げに波及する好循環を実現できるかが注目されます。

《事業概況》

当金庫では「健全経営に徹し、豊かな地域社会づくりに貢献する」という経営理念の下、さまざまな事業活動を展開してまいりました。

事業者向けでは、地域経済を牽引する若手経営者、事業後継者、経営幹部の育成を目的として「長野しんきんニューリーダーゼミナール」を実施しました。ゼミナールでは、「環境変化に適應する企業に向けた新たな価値観を学ぶこと」をメインテーマに、経営に必要なノウハウの取得に向けた企業視察や、受講者同士の人脈・ネットワークづくりに資する研修などを行いました。また、「第22回長野しんきんビジネスフェア」を開催し、地域の高校生・大学生約800名にご参加いただきました。高校生・大学生には、地元の企業が事業を通じてどのように社会に貢献しているかを知り、将来について考える機会を提供しています。一方で、人手不足に悩む事業者には、普段なかなか接点のない高校生・大学生との交流の場を設けることで、双方にとって有益な取り組みとなっています。

個人向けでは、特別金利定期預金「一緒にえがこう未来定期預金」を発売し、地域のお客さまに日頃の感謝の気持ちをお伝えしました。そのほか、資産形成に役立つ商品として、NISA向け投資信託やiDeCo（個人型確定拠出年金）・企業型DC（企業型確定拠出年金）等を取りそろえており、「お客さまの資産形成のお手伝い」を地域貢献の大きな柱のひとつと位置づけ、ご案内に努めました。

《業績》

第104期の業績は以下のとおりです。

まず、預金積金は、流動性預金を中心に堅調に推移したことから、期中109億89百万円増加して期末残高は8,968億84百万円となりました。

貸出金は、住宅資金を中心とした個人融資が堅調に推移した結果、期中70億32百万円増加して期末残高は3,689億70百万円となりました。

有価証券は、期中74億7百万円増加して期末残高は4,991億77百万円となりました。

損益状況について、経常収益は、資金運用収益の増加及び有価証券売却益の計上などから、前期比27億56百万円増加して171億83百万円となりました。

経常費用は、預金利回りの上昇に伴う資金調達費用の増加や、その他業務費用の増加などから前期比23億43百万円増加して129億52百万円となりました。

この結果、経常利益は前期比4億12百万円増加して42億31百万円となり、当期純利益は前期比3億53百万円増加して31億51百万円となりました。

《内部管理基本方針及びその運用状況の概要》

当金庫は、信用金庫法第36条第5項第5号並びに同法施行規則第23条に基づき、業務の健全性・適切性を確保するための態勢整備に係る基本方針として「内部管理基本方針」を理事会において決議し、以下の項目について定めています。当金庫及び当金庫の子法人等から成る集団（以下、「当金庫グループ」という。）は、本方針に則り、内部管理体制の整備を進めるとともにその実効性確保に努めるものとしています。

1. 当金庫グループの役職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
2. 当金庫の理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
4. 当金庫の理事及び当金庫の子法人等の取締役等の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
5. 当金庫グループにおける業務の適正を確保するための体制
6. 監事はその職務を補助すべき職員を置くことを求めた場合における当該職員に関する事項
7. 監事の職務を補助すべき職員の理事からの独立性に関する事項
8. 当金庫グループの役職員が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制
9. その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

《事業の展望と課題》

当金庫は現在、『“地域愛”を原動力に この先の成長も みなさまとともに』をビジョンとして掲げ、5ヵ年計画「ネクスト5 (GO!)」を遂行しています。このビジョンには、「私たちが生まれ育ち、ともに歩み続けてきた地域のために、地域のエンジンとして力を発揮し、お客さま・地域・当金庫・職員がともに成長し続ける」という思いが込められています。ビジョン達成に向けて、お客さまから一番に頼りにされる職員を育成し、お客さまの資産形成や事業発展を強力にサポートしてまいります。

現在、地域経済はさまざまな課題に直面していますが、これからも、お取引先企業の成長に向けて積極的な資金供給に努めるとともに、M&A・事業承継や事業再生、経営人材確保、DX支援などの本業支援に力を入れ、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

引き続き、適切なりスク管理とコンプライアンスの実践による経営の健全性、安全性の確保に努め、役職員一同一丸となって地域金融機関としての役割を精一杯果たしてまいりますので、変わらぬご支援お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

令和8年6月

会 長

理事長

市川公一
鈴木弘一

第104期末貸借対照表

資産の部

令和8年3月31日現在（単位：百万円）

科 目	金 額
現金	7,050
預け金	129,662
買入金銭債権	108
有価証券	499,177
国債	178,501
地方債	21,541
社債	113,149
株式	56,695
その他の証券	129,290
貸出金	368,970
割引手形	1,198
手形貸付	18,888
証書貸付	322,473
当座貸越	26,409
その他資産	7,067
未決済為替貸	115
信金中金出資金	5,272
未収収益	1,421
その他の資産	258
有形固定資産	7,184
建物	2,771
土地	3,961
リース資産	5
その他の有形固定資産	446
無形固定資産	327
ソフトウェア	70
その他の無形固定資産	257
前払年金費用	452
債務保証見返	631
貸倒引当金	△3,549
（うち個別貸倒引当金）	（△3,318）
資 産 の 部 合 計	1,017,083

負債及び純資産の部

令和8年3月31日現在（単位：百万円）

科 目	金 額
預金積金	896,884
当座預金	26,219
普通預金	391,337
貯蓄預金	4,134
通知預金	32
定期預金	447,154
定期積金	22,361
その他の預金	5,643
その他負債	2,481
未決済為替借	181
未払費用	947
給付補填備金	13
未払法人税等	401
前受収益	156
払戻未済金	43
払戻未済持分	21
職員預り金	10
リース債務	6
資産除去債務	269
その他の負債	429
賞与引当金	466
役員賞与引当金	13
退職給付引当金	1,427
役員退職慰労引当金	122
睡眠預金払戻損失引当金	37
偶発損失引当金	485
繰延税金負債	6,461
債務保証	631
負債の部合計	909,013
出資金	2,266
普通出資金	2,266
利益剰余金	86,020
利益準備金	2,306
その他利益剰余金	83,713
特別積立金	80,337
当期末処分剰余金	3,376
処分未済持分	△ 0
会員勘定合計	88,286
その他有価証券評価差額金	19,784
評価・換算差額等合計	19,784
純 資 産 の 部 合 計	108,070
負債及び純資産の部合計	1,017,083

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第104期損益計算書

自令和7年4月1日 至令和8年3月31日 (単位:千円)

科 目	金 額
経常収益	17,183,389
資金運用収益	13,919,269
貸出金利息	4,928,479
預け金利息	635,986
有価証券利息配当金	8,239,405
その他の受入利息	115,398
役務取引等収益	982,463
受入為替手数料	354,374
その他の役務収益	628,089
その他業務収益	1,508,991
国債等債券売却益	1,406,978
その他の業務収益	102,012
その他経常収益	772,664
償却債権取立益	28,397
株式等売却益	740,499
その他の経常収益	3,767
経常費用	12,952,145
資金調達費用	1,882,911
預金利息	1,866,817
給付補填備金繰入額	16,042
その他の支払利息	50
役務取引等費用	804,482
支払為替手数料	99,062
その他の役務費用	705,420
その他業務費用	2,383,817
国債等債券売却損	1,370,459
国債等債券償還損	1,009,863
その他の業務費用	3,494
経費	7,529,651
人件費	4,785,994
物件費	2,426,408
税金	317,248
その他経常費用	351,282
貸倒引当金繰入額	14,264
貸出金償却	92,267
株式等償却	74,127
その他の経常費用	170,623
経常利益	4,231,244
特別損失	19,582
固定資産処分損	19,401
減損損失	181
税引前当期純利益	4,211,661
法人税、住民税及び事業税	1,114,250
法人税等調整額	△ 54,272
法人税等合計	1,059,978
当期純利益	3,151,682
繰越金(当期首残高)	225,057
当期末処分剰余金	3,376,739

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

第104期剰余金処分

(令和7年度)(単位:円)

科 目	金 額
当期末処分剰余金	3,376,739,402
積立金取崩額	39,774,500
利益準備金限度超過取崩額	39,774,500
剰余金処分額	3,145,283,684
普通出資に対する配当金	(年2%) 45,283,684
特別積立金	3,100,000,000
繰越金(当期末残高)	271,230,218

以上のとおりであります。
令和8年6月

長野信用金庫

会 長 市 川 公 一
理 事 長 鈴 木 弘 一
常 務 理 事 岩 崎 邦 浩
常 務 理 事 荒 井 健 次
常 務 理 事 宮 澤 幸 彦
常 勤 理 事 武 田 俊 一
常 勤 理 事 西 澤 規 男
常 勤 理 事 高 橋 和 之
理 事 廣 田 光 彦
理 事 松 本 清

以上監査の結果、その正確なることを認めます。
令和8年5月

常 勤 監 事 北 村 嘉 基
監 事 野 路 美 徳
監 事 栗 林 実

経営指標

主要な経営指標の推移

(単位：百万円)

		令和6年度	令和7年度
利益	経常収益	14,426	17,183
	経常利益	3,818	4,231
	当期純利益	2,798	3,151
残高	預金積金残高	885,895	896,884
	貸出金残高	361,937	368,970
	有価証券残高	491,770	499,177
高	純資産額	96,015	108,070
	総資産額	989,758	1,017,083

会員数及び出資金

(単位：金額=百万円、会員数=名)

		令和7年3月末	令和8年3月末
会員数	個人	48,784	47,143
	法人	8,029	8,035
	合計	56,813	55,178
出資金		2,306	2,266

ご案内：当金庫は、平成26年9月の法改正を踏まえ、長期間所在が不明となられている会員の方の除名に関する定款変更を平成28年6月に行いました。以下の①～③のすべてに該当する方は、総代会の決議により除名となることがございます。

- ①5年以上継続して当金庫の事業を利用していない方。
- ②当金庫の通知又は催告が5年以上継続して到達しなかった方。
- ③当金庫への届出住所等に所在していないことが確認できた方。

預貸率

(単位：%)

		令和6年度	令和7年度
預貸率	期末残高	40.85	41.13
	期中平残	40.58	40.76

総資産利益率

(単位：%)

	令和6年度	令和7年度
総資産経常利益率	0.39	0.43
総資産当期純利益率	0.28	0.32

(注) 総資産経常(当期純)利益率 = $\frac{\text{経常(当期純)利益}}{\text{総資産平均残高}} \times 100$ ただし、総資産については債務保証見返勘定は含んでおりません。

この比率は資産規模に対する利益の比率をみる指標であり、一般的にROA (Return On Assetの略) と呼ばれております。

総資金利鞘

(単位：%)

	令和6年度	令和7年度
資金運用利回	1.18	1.43
資金調達原価率	0.89	1.05
総資金利鞘	0.29	0.38

(注) 1. 資金運用利回 = $\frac{\text{資金運用収益}}{\text{資金運用勘定計平残}} \times 100$

2. 資金調達原価率 = $\frac{\text{資金調達費用} - \text{金銭の信託運用見合費用} + \text{経費}}{\text{資金調達勘定計平残}} \times 100$

3. 総資金利鞘 = 資金運用利回 - 資金調達原価率

この比率は、運用資金全体の収益力をみる指標です。

業務純益・粗利益

(単位：千円)

	令和6年度	令和7年度
業務純益	3,590,823	3,992,200
業務粗利益	10,770,646	11,339,513
うち資金利益	10,725,538	12,036,357
うち役務取引等利益	252,228	177,981
うちその他業務利益	△207,120	△874,826
業務粗利益率(%)	1.12%	1.17%

(注) 業務粗利益率 = $\frac{\text{業務粗利益}}{\text{資金運用勘定計平均残高}} \times 100$

単体自己資本比率（国内基準）

（単位：百万円）

	令和7年3月末	令和8年3月末
自己資本の額（A）－（B）（C）	84,781	87,692
コア資本に係る基礎項目の額（A）	85,525	88,472
コア資本に係る調整項目の額（B）	743	780
リスク・アセット等の額の合計額（D）＋（E）＋（F）（G）	380,649	395,701
信用リスク・アセットの額の合計額（D）	293,061	308,192
マーケット・リスク相当額の合計額を8％で除して得た額（E）	68,915	67,548
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8％で除して得た額（F）	18,671	19,960
自己資本比率（国内基準）＝ $\frac{(C)}{(G)} \times 100$	22.27%	22.16%

（注）自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。

預金業務関係

預金科目別、会員・会員外別残高

（単位：残高=百万円、構成比=％）

	令和7年3月末		令和8年3月末	
	残高	構成比	残高	構成比
当座預金	27,718	3.1	26,219	2.9
普通預金	374,350	42.2	391,337	43.6
貯蓄預金	4,141	0.4	4,134	0.4
通知預金	48	0.0	32	0.0
定期預金	448,787	50.6	447,154	49.8
定期積金	25,327	2.8	22,361	2.4
その他の預金	5,522	0.6	5,643	0.6
合計	885,895	100.0	896,884	100.0
会員	335,845	37.9	342,945	38.2
会員外	550,050	62.0	553,939	61.7

（注）「その他の預金」は別段預金、納税準備預金、非居住者円預金の合計です。

預金者別預金残高

（単位：残高=百万円、構成比=％）

	令和7年3月末		令和8年3月末	
	残高	構成比	残高	構成比
個人	671,446	75.7	672,312	74.9
法人	214,448	24.2	224,572	25.0
一般法人	188,893	21.3	197,050	21.9
金融機関	50	0.0	38	0.0
公金	25,505	2.8	27,483	3.0
合計	885,895	100.0	896,884	100.0

貸出金業務関係

貸出金科目別、会員・会員外別残高

(単位：残高=百万円、構成比=%)

	令和7年3月末		令和8年3月末	
	残 高	構成比	残 高	構成比
割 引 手 形	1,780	0.4	1,198	0.3
手 形 貸 付	21,172	5.8	18,888	5.1
証 書 貸 付	312,142	86.2	322,473	87.3
当 座 貸 越	26,842	7.4	26,409	7.1
合 計	361,937	100.0	368,970	100.0
会 員	289,906	80.0	297,525	80.6
会 員 外	72,031	19.9	71,444	19.3

貸出金業種別・使途別残高

(単位：残高=百万円、構成比=%)

		令和7年3月末		令和8年3月末	
		残 高	構成比	残 高	構成比
製 造 業		35,448	9.7	36,534	9.9
農 業 ・ 林 業		781	0.2	832	0.2
鉱業・採石業・砂利採取業		302	0.0	303	0.0
建 設 業		33,253	9.1	33,882	9.1
電気・ガス・熱供給・水道業		4,041	1.1	3,712	1.0
情 報 通 信 業		1,685	0.4	1,492	0.4
運 輸 業 ・ 郵 便 業		5,811	1.6	6,402	1.7
卸 売 業 ・ 小 売 業		31,659	8.7	29,011	7.8
金 融 業 ・ 保 険 業		15,281	4.2	12,844	3.4
不 動 産 業		29,418	8.1	30,000	8.1
物 品 質 貸 業		1,687	0.4	1,476	0.4
学術研究・専門・技術サービス業		2,084	0.5	2,101	0.5
宿 泊 業		6,107	1.6	6,042	1.6
飲 食 業		4,955	1.3	4,972	1.3
生活関連サービス業・娯楽業		5,708	1.5	5,675	1.5
教育・学習支援業		1,005	0.2	940	0.2
医 療 ・ 福 祉		10,861	3.0	10,695	2.8
その他のサービス		8,099	2.2	8,762	2.3
地 方 公 共 団 体		53,608	14.8	55,264	14.9
個 人		110,134	30.4	118,022	31.9
合 計		361,937	100.0	368,970	100.0
使途別	設備資金	167,482	46.2	173,639	47.0
	運転資金	194,454	53.7	195,330	52.9

(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:百万円)

	令和6年度	令和7年度
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,130	865
危険債権	20,429	18,831
要管理債権	430	427
三月以上延滞債権	-	-
貸出条件緩和債権	430	427
小計 (A)	21,990	20,124
保全額 (B)	19,120	17,672
個別貸倒引当金 (C)	2,665	2,433
一般貸倒引当金 (D)	44	35
担保・保証等 (E)	16,410	15,202
保全率 (B)/(A) (%)	86.94%	87.81%
引当率 ((C)+(D))/((A)-(E)) (%)	48.56%	50.17%
正常債権 (F)	342,611	351,806
総与信残高 (A)+(F)	364,602	371,930

その他

職員の状況

	令和7年3月末	令和8年3月末
職員総数	526人	531人
うち男子職員	312人	311人
うち女子職員	214人	220人
平均年齢	40年2カ月	39年10カ月
平均勤続年数	17年2カ月	16年11カ月

常勤役職員1人当たり預金・貸出金残高

(単位:百万円)

	令和7年3月末	令和8年3月末
預金残高	1,655	1,660
貸出金残高	676	683

1店舗当たり預金・貸出金残高

(単位:百万円)

	令和7年3月末	令和8年3月末
預金残高	23,313	23,602
貸出金残高	9,524	9,709

現金自動機器設置台数

ATM=現金自動預入支払機 (単位:台)

		令和7年3月末	令和8年3月末
ATM台数	店舗内	74	72
	店舗外	21	22

(注) 店舗外台数には、当金庫が幹事でない共同設置は含みません。

記載金額・構成比・諸比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

◎第103期通常総代会の招集並びに提出議案について

1. 第103期通常総代会招集の件

日 時 令和7年6月23日(月) 午後2時
場 所 当金庫本店2階大会議室

2. 第103期通常総代会の提出議案の件

○会議の目的事項

報告事項

第103期(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容報告ならびに監事及び会計監査人の監査結果報告の件

決議事項

第1号議案 剰余金処分案承認の件

第2号議案 定款の一部変更の件

第3号議案 会員の除名承認の件

第4号議案 総代候補者選考委員補充の件

◎業務報告(令和7年度通期)

- 4月4日 「年金新規お受取りキャンペーン」の実施(～3月31日)
- 4月17日 取引先企業の新入社員26名を対象に「地域企業社員研修会」を開催
- 4月20日 長野マラソンにボランティアとして参加 職員49名
- 4月21日 桜枝町支店を大門町支店の「店舗内店舗」として営業開始
- 4月24日 価格転嫁実践セミナーの開催 参加者43名
- 5月14日 第22回長野しんさんビジネスフェア2025の開催 出展295社・団体 来場者5,000名
- 6月2日 「一緒にえがこう未来定期預金2」の取扱い開始(～9月30日)
- 6月6日 コスト削減からはじめる脱炭素セミナーの開催 参加者30名
- 6月20日 長野しんさん「しんみせ」応援プロジェクト「創業カレッジ」開講(～9月17日) 受講者61名
- 7月3日 事業承継セミナーの開催 参加者70名
- 7月17日 Instagram実践セミナーの開催 参加者62名
- 8月26日 知的財産マッチングイベントの開催 参加者20名
- 9月19日 長野しんさんニューリーダーゼミナール2025の開催(全6回、～2月19日)
- 9月24日 イオンモール須坂へのATM出店
- 10月15日 「長野しんさんふれあいコンサート」開催 出演:石川さゆり
- 10月10日 LINE公式アカウント活用セミナーの開催 参加者46名
- 11月25日 県内信金統一事業としての「しんさんフードドライブ」実施(～12月5日)
- 11月21日 人手不足対策セミナーの開催 参加者28名
- 11月26日 「NAGANO しんさんサステナビリティ・リンク・ローン」取扱開始
- 11月27日 長野工業高等学校2年生236名を対象とした「金融リテラシー講座」の開催(全5回、～2月17日)
- 12月10日 「しんみせチャレンジ2025」表彰式の開催 表彰者12名
- 12月17日 官民共創チャレンジフォーラムの開催 参加者35名
- 1月23日 M&Aセミナーの開催 参加者67名
- 1月25日 「長野信用金庫 presents 小野あつこ歌のステージ」開催
- 2月2日 「一緒にえがこう未来定期預金3」の取扱開始(～4月3日)
- 2月20日 令和7年度補正予算中小企業支援策等活用セミナーの開催 参加者71名
- 3月21日 人材採用セミナーの開催 参加者27名
- 3月27日 取引事業所経営者を構成員とする「長野しんさんビジネスクラブ」定期総会および講演会を実施 【講演会】講師:桑田真澄 参加者205名

総代氏名

令和8年5月31日現在

区	総代定数	総 代 氏 名					
1	3	齋藤 安彦	鈴木 昇	山口 信秋			
2	4	赤池 健	塚田まゆり	松本 重好	宮島 章郎		
3	6	石黒ちとせ 日南田哲三	鹿熊 聡 山崎 桂一	倉澤 慶一	中澤 新治		
4	2	藤森 将一	増田久仁彦				
5	6	久保田純朗 宮澤 隆	清水 省吾 茂木 正久	竹澤 環江	松井 光男		
6	4	岩崎 篤二	高木 俊行	中村知枝子	松見かおり		
7	5	青木 幸彦 村山 博美	鎌倉 利光	小林 裕生	千野 義幸		
8	6	石田 延章 古旗 文夫	大田 敬一 水島 康明	鬼頭久仁彦	長澤 一喜		
9	9	海野 和貴 半藤 繁秋 横田 一尊	岡 健一郎 宮下 知子	杉田 敏幸 山岸 章	関 今朝弘 山下 重三		
10	7	岩野 仁 本道 正長	小出 真也 山口 英男	中山 誠 山田 善久	堀内 敏男		
11	2	武井 廣助	宮澤 重徳				
12	6	太田 千尋 滝澤 勝彦	小林 昭夫 福島 修一	小山 忠房	新開 英二		
13	3	石田 治	西宮登喜男	宮澤 度			
14	7	大岡 敏久 中村 健	金井 浩章 西澤 章	小林 正直 宮入賢一郎	坂田 光伸		
15	5	香山 篤美 山岸 信夫	酒井 敬二	牧野 義明	村井 教郎		
16	10	新井 精一 窪田 英一 宮澤 千津	大日方 尚 田中 實 渡邊 英祐	小山田雄治 中島 功雄	笠井 昭男 平山 和成		
17	6	飯島 孝一 南澤 文明	石井 英嗣 峯村 宗次	齋藤 清	滝沢 秀治		
18	3	飯島 優子	海野 政也	藤原 正治			
19	8	鮎澤 直樹 古旗 将之	瀬在 順一 宮川 光男	高村 秋光 宮原 誠	畑山 佳則 矢島 敬士		
20	10	岩崎 雄一 中澤 啓明 北條 將隆	小布施幸治 西田 剛 山岸 由子	金井 辰巳 広田 悦治	永井 和男 藤沢 一彦		
21	4	荒木 智子	市村 次夫	島田 正信	竹村 利器		
22	5	市川 博信 望月 誠一	小橋 浩樹	小林 博文	中條 和彦		
23	3	小林 謙一	西山平四郎	羽田 吉彦			
24	7	内山 光弘 土倉 武幸	春日 孝之 中島 成一	小林 直樹 松澤 良二	高野 哲浩		
25	4	阿部 弘喜	伊東 紀義	藤巻 篤	丸山 茂		
		計135名					

(注) 総代氏名の表示は五十音順、敬称略です。

選任区域についてはもよりの本支店窓口へおたずね下さい。

店 舗 一 覧

長 野 市	(本 部)	居町133-1	(026)228-0221
	本店営業部	居町133-1	(026)225-0225
	石 堂 支 店	北石堂町1405-1	(026)226-6131
	伊 勢 宮 支 店	差出南2丁目1-29	(026)227-1125
	川 中 島 支 店	川中島町御厨927-1	(026)284-7561
	川中島駅前支店	川中島町上氷鉋1412-1	(026)286-3021
	更 北 支 店	青木島町青木島乙146-1	(026)285-3125
	権 堂 支 店	権堂町2201-23	(026)233-1155
	篠ノ井支店	篠ノ井布施高田72-2	(026)292-1085
	城 北 支 店	上松4丁目7-10	(026)241-4248
	川 柳 支 店	篠ノ井二ツ柳1947	(026)292-3755
	善光寺下支店	三輪6丁目17-12	(026)234-2145
	大門町支店	大門町542-1	(026)234-3225
	桜枝町支店	大門町542-1	(026)234-3225
	豊 野 支 店	豊野町豊野608-1	(026)257-3121
	長 池 支 店	南長池581-1	(026)244-2150
	七 瀬 支 店	七瀬南部575-1	(026)226-0360
	東長野支店	北尾張部750-1	(026)244-7751
	古 里 支 店	富竹687-5	(026)296-7951
	松 代 支 店	松代町松代581-3	(026)278-2421
	大豆島支店	大豆島939-5	(026)221-8881
	南 支 店	稲葉上千田294-3	(026)226-6402
	柳 原 支 店	柳原2090-12	(026)243-6678
	吉 田 支 店	吉田3丁目16-41	(026)241-1561
	若 槻 支 店	稲田1丁目30-18	(026)241-1125
	若 穂 支 店	若穂綿内8511-1	(026)282-5381
須 坂 市	須 坂 支 店	須坂1623-17	(026)245-1110
	太子町支店	須坂1623-17	(026)245-1110
	墨 坂 支 店	墨坂南3丁目7-19	(026)246-0511
中 野 市	中 野 支 店	中央1丁目6-15	(0269)22-4151
飯 山 市	飯 山 支 店	飯山259-8	(0269)62-3141
千 曲 市	稲荷山支店	稲荷山1782-86	(026)272-1264
	上山田支店	上山田温泉2丁目9-9	(026)275-0610
	戸 倉 支 店	戸倉2192-1	(026)275-3300
	屋 代 支 店	粟佐1599-6	(026)272-3311
埴 科 郡	坂 城 支 店	坂城町坂城9178-6	(0268)82-7221
上高井郡	小布施支店	小布施町小布施803	(026)247-3141
下高井郡	山ノ内支店	山ノ内町平穂3379-4	(0269)33-3191
上水内郡	飯 綱 支 店	飯綱町牟礼528-5	(026)253-7525

上記以外の営業地区

長野県上田市、東御市、小諸市、佐久市（うち旧南佐久郡臼田町を除く）
北佐久郡、小県郡、下水内郡、新潟県妙高市（うち旧新井市を除く）